

【日時】 10月18日（木） 16時00分～

【場所】 新居浜市役所 3F 応接会議室

新型コロナウイルス感染症について

- ・ 事業者応援（独自）事業の実施
- ・ 感染の状況
- ・ ワクチン接種の状況
- ・ 市有施設の運用 など

<市長>

本日は、急な開催にも関わらず、臨時記者会見へお集まりいただき、誠にありがとうございます。それでは、先ほど、愛媛県から県内の新規感染状況などが発表されておりましたが、今後の本市の感染症対策や状況について、ご説明をさせていただきます。

まずは、新型コロナウイルス感染症の感染状況についてでございます。

本市の状況といたしましては、10万人当たりの1週間の新規の陽性確認者数で見た場合、第5波のピークが8月24日の67.8人、その後9月中旬に向けて減少し、9月18日から9月22日までが3.4人になるなど、一定の抑え込みができておりましたが、9月23日以降から再び上昇し、10月5日には、31.7人となっております。

この間、県内他市、また全国的にも新規陽性者の確認に落ち着きが見え始め制限緩和が行われる中、市民の皆様には引き続きの外出自粛、往来注意、更なる感染対策強化をお願いし、とりわけ、地方祭における太鼓台の運行自粛をお願い申しあげるなど、多くの運営委員会ほか関係者の皆様並びに市民の皆様のご理解とご協力をいただきました。

皆様方のご協力のおかげもあり、直近数日間の陽性者の確認数が1日あたり2人となるほか、本日の愛媛県の発表では陽性者の確認がゼロとなりました。もちろん、愛媛県からは、ステージⅢの基準（15人）を大幅に下回るまでの間、注意するよう呼びかけがございますとおおり、再びこの数値が上昇することがないように今後も感染予防に取り組む所存でございますが、ひとまず、本日までの市民の皆様のご努力とご協力に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

次に、ワクチン接種の状況についてでございます。

ワクチン接種の状況と今後の接種体制につきましてご説明いたします。

本年8月21日までに、新たに12歳となる人を除き、ワクチン接種対象者の方へ接種券の送付が完了し、9月16日に予約をされていない方への勧奨はがき（約2万3千通）を送付いたしました。

昨日、10月17日までの接種の状況といたしましては、1回目の接種が済んでいる方が、89,113人で83.6%、2回目まで接種済みが、76,318人で71.6%となっております。

現在も順次、2回目のワクチン接種を完了されており、10月末までの目標としている接種率80%を達成できる見込みでございます。

ワクチン接種の体制といたしましては、10月末まではこれまで同様に、ディープフリーザーを

配置している基本型接種施設の4医療機関（愛媛労災病院、住友別子病院、十全総合病院、加藤クリニック）、とサテライト型接種の市内41の医療機関における個別接種、また、リーガロイヤルホテルでの集団接種を継続いたしますが、11月からは、基本型接種施設の4医療機関における個別接種を基本といたします。

また、事情により個別接種での対応が困難な方に対し、11月の19日と26日、及び、2回目となる、3週間後であります12月の10日と17日、いずれも金曜日ですが、19時から20時30分の時間帯で、市役所西隣の消防防災合同庁舎の1階ロビーにおいて集団接種会場を設ける予定といたしております。

ワクチン接種は、新型コロナウイルス感染症の発症および重症化の予防に極めて高い効果があると言われております。

もちろん、ワクチン接種は強制ではございませんが、ご自身と大切な人の命を守るため、積極的なワクチン接種にご理解・ご協力をいただけますよう強くお願い申し上げます。

次に、市有施設の運用についてでございます。

体育館やグラウンド、公民館など多くの市有施設がコロナウイルス感染症、陽性者の確認が続いていることから、これまで2か月余りに亘り、休館の状況が続いております。スポーツ活動や文化活動、地域の活動など様々な制限がかかっており、市民の皆様にご不便ご迷惑をおかけしているところでございます。そのような中、先ほどご説明いたしましたとおり、本日、新居浜市での陽性者は確認されず、ステージ3の基準人数となる15人を下回りましたことから、明日から市有施設を開館することといたしましたのでお知らせいたします。（なお、山根温水プールにつきましては、準備のため20日からとなりますのでご了承ください。）

次に、新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算についてでございます。

本日、10月18日付けで、新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算を専決処分いたしましたので、ご報告いたします。

今回の補正予算は、令和3年度一般会計補正予算（第7号）でございまして、補正予算額は、2億2,260万円、補正後の予算総額は、537億5,278万9千円となっております。

補正の内容といたしましては、まず、県・市町連携えひめ版事業者応援事業費でございます。

愛媛県ではご存じのとおり、感染者の減少に伴い、10月から「感染警戒期」となっておりますが、新居浜市のみ人口10万人あたりの新規陽性者数が15人を超えており、これは国が示すステージ3にあたることから、当面の間、不要不急の外出自粛など、より一層厳しいお願いをしております。

この間、事業者の皆様には、感染拡大の防止に向けて、様々なご協力をいただいておりますことに感謝申し上げますとともに、現在も大変厳しい状況であることは私自身十分理解しているところでございます。そこで、今回、長引くコロナ禍の影響を強く受けている事業者の、さらなる感染防止策の徹底と、事業継続に向けた取り組みを支援するために、先の9月議会において予算措置いたしました、県・市町連携えひめ版事業者応援事業費について、市独自に、給付額を10万円上乘せすることといたしました。

予算額は、2億1,160万円の追加でございまして、全額市の一般財源でございます。

次に、「笑顔の安心飲食店認証制度」普及促進事業費でございます。

これは、市民の皆様が安心して、飲食店を利用できるよう、県が行っている「笑顔の安心飲食店認証制度」の普及促進を図るため、市内の飲食店の皆様への説明会や相談会などを実施する事業

費として100万円を予算措置するものでございます。

さらに、ワクチン接種の対象となっていない小学校や幼稚園・保育園に通う、児童や園児が集団生活する中において感染が拡大することを防止するため、各家庭で発熱などの症状がみられた際に、自宅で簡単に検査できる「簡易抗原検査キット」を配布するなどの事業費として、1,000万円を
予算措置いたしました。

新型コロナウイルス感染症は、全国的には落ち着いているようにも思われますが、市内では引き続き陽性者が確認されており、まだまだ予断を許さない状況でございます。
市民の皆様、事業者の皆様が、安心して、一日も早く以前のような日常生活を取り戻すことが出来るよう、取り組んでまいります。